

2022 10 [Oct.] vol.187

セゾン投信 | お客様へのメッセージ

NEWS LETTER



長期投資仲間へのメッセージ vol.187

長期投資が国策になる

セゾン投信株式会社 代表取締役会長CEO 中野 晴啓

ゲストからの応援メッセージ

『老いてからでも遅くない!』

一般社団法人熱中学園 代表理事 堀田 一英氏



SPECIAL FEATURE

セゾン資産形成の達人ファンド 組入れファンドを追加!

セミナー&イベント情報

買付・解約 受付不可日のお知らせ



長期投資が国策になる

セゾン投信株式会社 代表取締役会長CEO 中野晴啓

世界経済の構造転換期

リーマンショック以降長く続いた「適温相場」と言われる世界的な低インフレ下での経済成長環境は、コロナ後に重なった資源エネルギー不足の発現によって、ここからは前世紀以来のインフレ前提社会への回帰が始まります。市場参加者の多くはインフレ経済への対処が未体験で、その戸惑いがマーケットの変動幅の大きさに示されていると言えます。

米FRBパウエル議長の、景気を損なってもインフレ抑制を優先した金融政策を選択する旨の明示は、本来の中央銀行のミッションたるインフレファイティングに合致する、至極妥当な判断です。高インフレを放置すれば、实体经济は重篤な病に陥るからです。欧州も米国を上回るインフレ率で、景気悪化の痛みを覚悟の上で金融引き締めを強化させていくはずですが。

しかし世界経済の基礎的条件はコロナ克服を前提として、決して悪くありません。米欧から波

及してのグローバルリセッション（世界的な景気後退）は想定範囲内に入ったと思いますが、それはエネルギー需要を減退させ、おのずと資源エネルギー価格は実需に見合う水準へと自律調整されて、リセッションは長引くことなく再び経済回復軌道が見えてくることでしょう。そのプロセス下でのここから長きに亘るメガトレンドは、脱化石燃料の急速化と共に代替エネルギー開発の劇的進展でありましょう。経済構造が否応なく転換する中での新たな長期成長軌道で、長期投資家にとってこの逆風下を忍耐強く乗り越えて進んでいくことには、大いなる意義があります！

「つみたてNISA」は国策に

さてこうした足元での厳しい環境下で、今高い実現可能性を持って政府が進めているのが「資産所得倍増プラン」。具体的にはNISA制度の抜本的拡充に向けた準備です。年末の税制改正大綱の公表までに詳細が固まるはずですが、

まず時限立法だった法令が恒久法に、そして「つみたてNISA」を主軸とした新制度に衣替えされると共に、非課税運用期間も無期限化が実現する見通しで、まさに生涯投資を続けられるに最適な環境が国策として整えられるのです。そして何より非課税枠が拡大されるので、本格的に長期資産形成へ行動する生活者が激増するはずで、「セゾン号」の皆さまも更に本気度を高める好機と致しましょう！

国内産業界も再起の機会に

新たなNISA制度で議論されているもうひとつの期待が、これまでの一般NISAにあたるものを、「つみたてNISA」に付随するカタチで「成長投資枠（仮称）」と改める金融庁案です。この部分も無期限化されるかはわかりませんが、これまで「つみたてNISA」では世界の経済成長を養分にお金を育てていく国際分散投資を勧奨していた金融庁が、国内資本市場へも生活者資金を長期投資マネーとして振り向けたいとの意志を汲み取れます。

NISA制度が国策として在るならば、やはり日本の産業界の再成長を喚起させる金融メカニズムを希求するのは政府として本来当然のことです。しかし日本の株式市場に海外投資マネーも惹きつけたいと考えると、対外競争力を有し、事業成長が期待出来る企業が峻別される必要があります。それを叶えるためには、成長企業を厳選する本格的な日本株アクティブ運用が高度に競い合う姿を実現させることが不可欠であり、日本

の資産運用業界の存在意義が問われ、真剣なる実践が求められる時だと言えましょう。

生活者主導の金融立国へ

岸田内閣が目指す通り、資産所得倍増を実現させるには、日本の生活者間に滞留する1千兆円超の現預金から数百兆円規模が、NISA制度とイデコなど非課税制度を通じて真っ当な長期投資マネーにシフトしていく行動文化をこの国に定着させる必要があります。「セゾン号」と乗客の長期投資仲間の皆さまがその主役になる時です。そして育ってくるお金をこの国で高度に消費し、或いは次世代への想いを込めて長期産業資本として再投資していく金融サイクルを先導していくのも、私たち長期投資家の役割です。日本を生活者主導の金融立国へと進化させるラストチャンスかもしれません！

(22年9月30日)

金融庁では2022年8月31日に「令和5年度 税制改正要望項目」を公表しています。

4ページにNISAの抜本的拡充についての要望がまとめられていますので、ご興味がある方はQRコードよりPDFをご覧ください。



『老いてからでも遅くない!』

私は今年で75歳になりました。日本アイ・ビー・エム株式会社を卒業して15年になります。

7年前から関わっている地方での人材育成事業、大人の社会塾‘熱中小学校’プロジェクトで中野晴啓さんにボランティアの講師をお願いしてお会いしてから、セゾン投信さんに関心を持ち1年前に‘セゾン号’に飛び乗りました。運用成績比較より、中野さんのレクチャーで目覚めた、という事で‘セゾン号’の乗客としては高齢でかつ新参ものです。

中野さんのボランティア授業のお話の中でも、どうにかして日本を貯蓄一辺倒の社会から改革したいという熱量を感じました。

さて、私は今日本の最大の懸案事項の一つである少子化、人口減少問題改善のきっかけを、首都圏の社会人と地方との関係性を強めることによって緩和できないか?と考えています。

昨今、先進企業では、CWO(チーフ・ウェルビーイング・オフィサー)を新設し、社員の人生の生き方、生活態度の構築支援をしてゆき、仕事を中心により良く生きようとする目標を会社と社員が共有するという方法を考えるようになってきました。

私が代表理事の「一般社団法人熱中学園」は、地方での人材育成事業以外に本年、国のデジタル田園都市国家構想を推進する和歌山県すさみ町と協業し、「ウェルネスツーリズム」の開発に取り組んでいます。本年11月に実施するこのプログラムは、コロナ禍、「多様な働き方」が急速に浸透している環境下で、都市部の経営者や従業員がすさみ町の豊かな自然環境の中で都市部では体験することができないウェルネスツーリズム&ワーケーションを実施し、今後のウェルネスライフのための習慣創りを共に学ぶものです。‘セゾン号’の高齢乗客の一人としては、貯蓄の動機を、老後の不安解消のみならず、心身とも健康で社会との関係性を継続できる、ウェルネスライフのお手伝いをさせていただいて、結果として長い期間継続的に積み立てられるような人生を支援してほしいな、と期待しています。

そのセゾン投信さんが、新たに国内企業に目を向けた施策に取り組まれるという、‘起業’に近い決断をされたのは、投資という側面から、最近元気がないといわれて久しい日本企業との資本市場を通じた関係性を構築されていかれるという事だと期待しています。

‘セゾン号’がどこに向かってゆくのか、ドキドキ、ハラハラしながら、お付き合いしていこうと思っています。



PROFILE

一般社団法人熱中学園 代表理事、日本みつばち養蜂家 ほった かずひ 堀田 一英氏

日本アイ・ビー・エム株式会社において、PC販売事業部長、ソフトウェア事業部長、経営企画担当などを常務取締役として歴任した。現在は内田洋行株式会社、アイ・オー・データ機器株式会社顧問。東日本大震災後東京赤坂にオフィスコロポックルを開設し、地方創生のプロジェクトを支援している。2015年以降山形県高島町を皮切りに大人の社会塾‘熱中小学校’を立ち上げ米国シアトル校を含めて22校までになった。著書に「老いてからでは遅すぎる」(海辺の出版社)。

セゾン資産形成の達人ファンド 組入れファンドを追加!

セゾン資産形成の達人ファンドはファンド・オブ・ファンズ形式のアクティブファンドですが、2022年9月より新しいファンドが増え、組入れファンドは全部で10ファンドになります。

どんな
ファンド?



フォントベル・ファンド — mtXサステナブル・エマージング・マーケット・リーダーズ

投資対象・地域

中国、台湾、ブラジルなどの新興国地域の株式

運用方針

持続的な成長が期待される銘柄に投資を行います。銘柄選定に際しては、投下資本利益率、業界内での競争優位性、株価の上昇余地、ESG基準の4つの軸で評価を行います。

どんな
運用会社?



Vontobel Asset Managementについて

スイスに本社を置く1988年設立のマルチ・ブティック型のアクティブ運用会社であり、スイスのほか、アジア、米国などに拠点を持つ。

Vontobel

mtXについて

2012年設立のVontobel Asset Managementのブティックの一部門で、新興国株式の運用を行う。スイスのほか香港に拠点を持つ。



ポートフォリオマネージャーから一言

新興国株式を対象として、既存の組み入れファンドと少し異なった手法で投資を行うファンドを追加しました。もちろん、長期的な視点で個別銘柄の調査を行い、割安と考えられる価格で購入する方針は他のファンドと同じですが、当ファンドは精緻に作りこまれた銘柄のスクリーニングと伝統的な調査を組み合わせて銘柄を選定しているところに特徴があります。

引き続き資産の長期的な成長を目指して、セゾン資産形成の達人ファンドとお付き合いください。



YouTubeで新しい組入れファンドについて説明している動画も公開中です!



セミナー&イベント情報

セミナー情報はこちら

<https://www.saison-am.co.jp/seminar/>



リアルセミナー

【日本全国47都道府県ツアー】あらためまして、セゾン投信です！

～20年後を、はじめる。～

皆さまの未来への伴走者としてセゾン投信を選んでもらえるよう、当社の想い、大切にしていること、サービス・商品、さらには当社のおせっかいについて、ご紹介いたします。この1～5年の間にセゾン投信で積立投資をスタートされた方や、自分の大切な資産の運用を委ねている会社のことを良く理解しておきたい方向けにプログラムを構成し、当社社員が全国各地を巡ります。

日程	開催地	定員	会場名
2022年10月15日(土)	鳥取	30	とりぎん文化会館
2022年10月16日(日)	島根	20	松江テルサ
2022年10月22日(土)	岡山	30	岡山国際交流センター
2022年10月23日(日)	広島	30	RCC文化センター
2022年10月29日(土)	高知	30	高知県立県民文化ホール
2022年10月30日(日)	愛媛	30	リジェール松山
2022年11月5日(土)	宮崎	30	KITENビル
2022年11月6日(日)	鹿児島	30	天文館ビジョンホール

【時間】🕒 14:00～15:45 (共通)

詳しくは特設ページからご確認ください！



ご紹介特典

「お客さまの身近な方にも投資信託を始めてもらいたい」という想いから、特典を用意しました。ご家族やご友人と一緒に初めてセミナーに参加された方に書籍一冊をプレゼント！

プレゼント書籍：

「最新版 つみたてNISAはこの9本から選びなさい」ダイヤモンド社出版

※WEBでお申込みの場合、「ご質問・メッセージ」欄に「ご紹介特典希望」とご入力ください。
お電話でのお申込みの場合はその旨スタッフまでお知らせください。

セゾン投信のスタッフが伺います！▶▶ 杉本洋(経営企画部)、山本潤(国内株式運用部)、山根尚之(事業戦略部)、土肥功次郎(経営企画部)ほか



オンラインセミナー

※セゾン投信 Web サイトのセミナー情報よりお申込みください。
(お申込み時にメールアドレスが必要となります)

アフターフォローマーケット ―足元の市況と外部環境について解説します!―

これから資産運用をお考えの皆さま、すでに投資を行っていらっしゃる皆さまへ現在のマーケット環境について、わかりやすくお伝えします。

【内容】・足元の経済および市場環境 ・欧米など世界の経済指標 ・世界を取り巻く外部環境
・インフレと投資など

【日時】2022年10月12日(水) 🕒 19:00～19:30

【定員】300名(申込先着順)

※本セミナーは生配信のみとなります。



西生 智久
セゾン投信
事業推進部

PC / スマートフォンでのお申込み

ホームページ「セミナー情報」はこちらから <https://www.saison-am.co.jp/seminar/>

お電話でのお申込み

セゾン投信お客さま窓口 **03-3988-8668** 営業時間：9:00～17:00(土日祝日、年末年始を除く)

『セゾン共創日本ファンドセミナー』

～企業との対話を通して豊かな社会の実現を目指す新ファンドをご紹介します!～

大きな変革期を迎える日本の資本市場において、投資家に求められる対話（エンゲージメント）とは何か、対話（エンゲージメント）を通してどのようにより豊かな社会を実現するか、私たちのビジョンをご紹介します。是非お気軽にご参加ください!

【日 時】2022年10月19日(水) 19:00～19:40

【定 員】300名(申込先着順)



大月 天道

（セゾン投信
国内株式運用部
シニア・アナリスト）



手続きのご案内

2023年のNISAの切り替え手続きは、10月1日より受付を開始しております。

【一般NISA⇔つみたてNISAの切り替えをご希望の場合の提出書類】

「NISA変更届」、「定期積立プラン申込書」

【課税口座⇒NISAの切り替えをご希望の場合の提出書類】

「NISA申請書」、「定期積立プラン申込書」、「本人確認書類」又は「勘定廃止通知書」

お手続き書類は、セゾンネット取引(マイページ)よりご請求をお願いいたします。

セゾンネット取引画面へログイン >> 口座管理 >> 登録情報一覧・書類請求 >> 各種書類請求

【2023年1月切り替えの提出締切日】

はじめてセゾン投信で定期積立を申込される方 ⇒ 2022年11月18日(金)

現在、セゾン投信で定期積立を継続されている方 ⇒ 2022年12月9日(金)

ご注意点

NISA切り替えに伴い、定期積立プランのご契約については、あらためて「定期積立プラン申込書」のご提出をお願いいたします。

セゾン投信HPでは説明動画も公開しています。



買付・解約 受付不可日のお知らせ (2022年10月5日～2022年11月3日)

下記は2022年10月5日現在の当社取扱いファンドの休日(海外休日等)の情報です。

海外休日等は日本の営業日の場合でも、信託約款に定める申込不可日としてご注文を受付することができません。

海外休日等にいただいたご注文は、「翌営業日」を注文日として承ります。

- セゾン・グローバルバランスファンド ●セゾン資産形成の達人ファンド

買付・解約 受付不可日 10月31日(月) 銀行休業日 ▶ ■ ■

上記は信頼できるとされる資料に基づいて作成されていますが、その正確さや完全さに対する責任を当社が負うものではありません。各地の休業日は都合により変更されることがあり、上記もこれを反映すべく予告なしに変更される場合がありますので予めご了承下さい。

※セゾン共創日本ファンドは国内市場休業日に準じます。

今月の積立購入での約定日

- セゾン共創日本ファンド 10月19日(水)
- セゾン・グローバルバランスファンド ●セゾン資産形成の達人ファンド 10月21日(金)



投資の名言



**Behind every stock is a company.
Find out what it's doing.**

— Peter Lynch

全ての株式の背後には会社がある。それが何をしているのかを知りなさい。

アメリカの投資家 ピーター・リンチ氏の言葉です。

セゾン共創日本ファンドでは投資先企業について綿密な調査とヒアリング、エンゲージメントを行っています。



経営企画部 渡邊

スタッフのつれづれだより

み なさんは、目的地を決めずに旅に出たことはありますか？
コロナ禍であり旅行が出来ない今この頃ですが、私には1つの小さな夢があります。それは目的地を決めずに自宅を出て空港に行き、一番早く搭乗できる飛行機に飛び乗って旅に出ることです。

私は、性格柄きっちり旅行の予定を決めてから家を出るタイプの人間です。予定通りの旅ではなく、どこに行くか分からないまま家を出発し、自分の予想外の場所へ連れて行ってくれる、そんな旅にも出てみたいと思います。

みなさんも行き先が決まっていないうまま、旅に出てみてはいかがでしょうか。



管理部 横山

読 書の秋、スポーツの秋、芸術の秋といろいろありますが、私にとってはなんとといっても食欲の秋！そして秋といえは栗！モンブランも栗ご飯も大好きですが、とりわけ毎年とても楽しみにしているのが栗きんとん。おせち料理に入っている栗きんとんではありません。ご存知の方も多くいらっしゃると思いますが、栗とお砂糖を炊き上げて茶巾絞りのようにしたお菓子で、岐阜県の銘菓として有名です。粒感が残った素朴なもの、上品な甘さで口当たり滑らかに仕上げられた和菓子の生菓みに近いもの等々お店によって特色があり、好みのものを見つけるのも楽しみのひとつ。割と狭い範囲にお店が集中しているようで、今年の秋は栗きんとんめぐりに行こうと計画中です。

編集後記

資産所得倍増プランに関連して8月末に金融庁から提出された「税制改正要望」には、NISAの抜本的拡充のポイントとして「簡素で分かりやすく、使い勝手のよい制度に」が挙げられています。内容としては制度の恒久化、期間の無期限化、非課税限度額の拡大に加えて「つみたてNISAを基本」にして対象年齢も未成年者まで拡大等、ぜひ実現してほしい要望が並んでいます。詳細が決まる12月の「税制改正大綱」が待ち遠しいですが、今の内に準備できることもあります！10月～12月はNISAの切り替えができるタイミング。なんとなく一般NISAを続けていた方や手続きが面倒でNISA口座を開設していなかった方はこのタイミングでつみたてNISAにしてみませんか？ 早めにつみたてNISAに切り替えておけば、制度が変わったときに慌てずに済みます。つみたてNISAの限度額40万円では足りないとい一般NISAを続けている方には課税口座での定期積立プランとの併用がおすすめです。(⌘)

こちらでも
チェック！  セゾン投信SNS

「セゾン投信公式noteを始めました！」

 note

noteに新しいコンテンツが登場！
「セゾン共創日本ファンドに寄せられた質問」
に対して、ポートフォリオマネージャー山本が
丁寧にお答えしています。



■この資料は、セゾン投信の役職員ならびに関係者の方々から皆様へ、「メッセージ」の発信を目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。したがって投資信託の購入、売却、あるいは保有を推奨するものではありません。■情報については、その正確性、信頼性、安全性等について保証するものではありません。■この情報は、閲覧者ご自身のものとし、転載、または、第三者への提供は禁止します。■このメッセージに掲載された情報に基づく判断については、閲覧者ご自身の責任の下に行うこととし、万一このメッセージの情報により、閲覧者が損失を被ったとしても、セゾン投信株式会社、ならびにその情報提供者はいかなる損害に対しても一切の責任を負うものではありません。■当社が設定・運用・販売する投資信託は値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。セゾン・グローバルバランスファンド、セゾン資産形成の達人ファンド(以下、2つのファンド)はファンド・オブ・ファンズであり、主として投資信託証券に投資を行います。2つのファンドの基準価額の変動要因としては、主に「価格変動リスク」や「為替変動リスク」、「カントリーリスク」、「信用リスク」、「流動性リスク」などがあります。他方、セゾン共創日本ファンド(以下、当ファンド)は、主として国内の上場企業に投資を行います。当ファンドの基準価額の変動要因としては、主に「価格変動リスク」や、「信用リスク」、「流動性リスク」などがあります。加えて、銘柄を絞り込んだ運用を行うため、市場動向にかかわらず基準価額の変動は相対的に大きくなる可能性があります。したがって、投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により投資元本を割り込むことがあります。運用による損益は、すべてお客さまに帰属します。当ファンドは預貯金とは異なり、投資元本が保証されているものではなく、一定の投資成果を保証するものではありません。■当社の投資信託は信託報酬等(税込最大年率1.34±0.2%程度)の費用がかかります。また、換金時の費用として信託財産留保額(基準価格に0.1%の率を乗じた額)がかかります。お申込みにあたってはセゾン投信からお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。